厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会長　山口巖雄
副会長　小林　透
幹事　田磐義明
副幹事　常澤重雄
会報・IT　湯澤一孝

こころの中をみつめよう 博愛を広げるために

2011～2012　国際ロータリー会長　カルヤン・バネルジー

例会場　厚木商工会議所5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2488回例会（11月1日）☆司会　壽永純昭 SAA

点鐘　…山口巖雄 会長

斉唱　…君が代・厚木RCの歌

ゲスト紹介

布川義男様（富士見産業株式会社 総務主任）

会長報告

◎ガバナー事務所より
・未来の夢計画　地区方針の説明会の資料

◎厚木市より
・景観講演会の開催について
日時：11月29日（火）15時～17時
場所：厚木商工会議所5F 大会議室
内容：「商店と商店街の活性化に向けて～ホスピタリティー表現による集客手法」
講師　東京大学アジア生物資源環境研究センター教授　堀　繁 先生
日時：11月25日（金）18時30分 点鐘

◎週報
1. 厚木中RC
2. 大和田園RC
3. 相模原グリーンRC

幹事報告

◎例会変更
＊大和RC
・大和産業フェアに切り替えのため休会
日時：11月7日（月）→5日（土）・6日（日）
＊厚木中RC
・夜間親睦例会
日時：11月16日（水）18時 点鐘
場所：「元湯旅館」
＊大和田園RC
・移動夜間例会

スマイル

山口巖雄会長

布川義男様、本日卓話をお願いし私共が計画しております、東日本ボランティアの件につきご講話頂けありがとうございます。宜しくお願いします。

滝澤　勇君

10月28日（金）から30日（日）に、南三陸町と気仙沼を訪れ、ボランティアとしてマジックをしてきました。お年寄りは目を丸くして驚き、子供たちは歓声をあげ、楽しく賑やかでした。南三陸から気仙沼にかけての海沿いの被災地では、ガレキはほとんど片づけられ、土台だけが残った土地が延々と続いてます。気仙沼では地盤沈下が激しく、市街地が水に浸ったままになっています。被災地の様子は百聞は一見に如かずでした。ボランティアの一行に、現地の自治会長が涙を流しながら語ってくれた3月11日の様子やその後の避難生活のご苦労に胸が熱くなりました。

柳田純昭君

結婚記念日のお祝いをありがとうございます。36年となりました。これからも仲よくやっていきたいと思います。

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊事業所開設
滝澤　勇君（11月9日）
＊夫人誕生日
西嶌洋一君（澄子夫人 11月14日）
＊結婚記念日
十亀健志君（11月9日）
門田高明君（11月3日）

今日の例会（2011年11月8日）

「ロータリー財団月間」
担当：R財団委員長

次回の例会（2011年11月15日）

「厚木市の地価動向予測（仮）」
担当：髙橋　宏君
講師：溝呂木 良幸氏（厚木不動産鑑定所 不動産鑑定士）

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

髙橋　宏君

先日のRCコンペでは第5位とニアピンをいただきありがとうございました。幹事の方々いつもありがとうございました。

前田賢一君

今日は卓話です。よろしくお願いします。

黒柳告芳君

本日所用にて失礼します。

髙橋　浩君

妻への誕生日お祝いありがとうございます。

今日のお花

ツワブキ（壽永純昭君）

卓話「大震災について」

担当：前田賢一君

講師：布川義男様（富士見産業株式会社 総務主任）

本日は、私の会社も東北地方に3つ拠点がありますので、従業員の安否確認と被災の状況と僅かですがボランティア派遣を実施しておりましたので、発表させていただきます。

今日の卓話が、東北の復興、被災者皆お１人お１人の心の復興への一助につながってゆきますよう、私なりにお伝えできればと思っております。

■3.11東日本大震災発生。

女川原発内にて作業していた6名の確認が3/14に確認ができ、従業員およびそのご家族全員の無事を確認できた。しかし、第一原発周辺に居住の従業員は、その日から着のみ着のまま避難所生活となる。津波で家を流された従業員は４人いた。

安否確認は苦労したが、厚木の事務センターが被災者お一人お一人の情報つかむことで、バラバラに避難した従業員同士が連携を取り合う事ができた。とても、心強かった。と言ってくれた。

互いに連絡をとりあおうとする意識が大切。被災者は連絡どこでない。

■東北に3つある拠点の状況

1.福島支店	福島県双葉郡大熊町	使用不可	立入禁止区域
2.いわき出張所	福島県いわき市	使用中	半壊損傷
3.東北支店	宮城県仙台市泉区	使用中	ほぼ損傷なし

■富士見会　5/2　10/10

ゴルフコンペを年2回、お客様を招いての開催している。5/2は、開催案内の後に震災があり直ちに中止を検討したが、4月に判断することとし復興チャリティゴルフコンペとして開催した。当日は、賞品は、東北選出の井上義久衆議院議員にお願い東北物産で揃えた。また、全員が獲得したお米券を被災地へと合計600ｋｇ（米俵10俵相当）と、文具セット1000セット（100万円相当）と一緒に義援金30万円を、福島県、大熊町、いわき市へお届けした。

何よりも、あの時期に参加者みなさんと被災地を思うやさしい気持ちを共有できたことと、主催者としても勇気をもって開催できたことはかけがえのない貴重な経験となりました。

その際賞品として、納めて下さった多賀城市のお菓子屋さんからのお手紙がとても被災地の信条を表していたのでご紹介します。

■真の復興とは

先週、第一原発20km圏内の双葉郡楢葉町で建設業を営んでいる大学の先輩に会いに行きました。

復興の現状が遅々として進んでいないことをもっと知ってもらう為にいろんなところで話した方がいいですね。と言うと、いつまでもそんなことを言っても始まらない、元気がでない。前を向いていかないと気持ちがもたない。と、言っていました。

ややもしますと日本では復興も一息ついたとか、もう大体大丈夫みたいな風潮が感じられる時もありますが、まだまだです。

被災者の方々は、前に進むことに必死で、口に出さないだけ、声にしないだけではないかと思います。

その声なき声に耳を傾ける必要です。

東北の皆さんは頑張ろうとしている人は必死に頑張っています。そして、頑張れない人も、本当にこれでいいとは思ってないと思います。何かきっかけが必要です。

本当の復興とは何か、被災者のお一人お一人が現実の苦難を乗り越えて力強く立ち上がり、生き抜いてゆくことにつながらなければ本当の復興にはならないように思います。

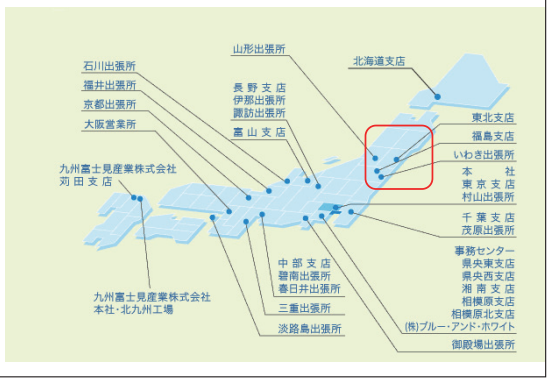
補償金のあり方も課題があるように思います。働かなくても、もらえるから働かない人が多くいるそうです。支援にはなっているが、その方の人生の復興につながらないのが現状ではないかと思います。

甘いお菓子やジュースを子供が欲しがり、ただ甘やかすだけで安易に与え続けていれば必ずや心身ともに健康を害する不幸な道へとなります。

真の復興とは何か、国民の幸せとは何か、何の為の支援なのか、何の為の復興か、をしっかりと見据えて、日本が１つになってこの局面に臨んでゆくことを大いに臨んでおります。

御清聴ありがとうございました。

富士見産業株式会社　支店情報



救援物資輸送隊　3月18日

救援物資輸送隊　3月18日

福島いわき出張所　東北支店への救援物資

	日付	物資内容
1	3月18日(金)	食糧品、飲料、燃料、防寒具
2	3月23日(水)	食糧品、飲料、燃料、防寒具
3	3月26日(土)	食糧品、飲料、燃料、生活雑貨物
4	3月29日(火)	食糧品、飲料、生活雑貨物
5	4月4日(月)	食糧品、飲料、作業用具
6	4月11日(月)	食糧品、飲料、生活雑貨物

H２３年3月２３日　福島県いわき市

H２３年4月１１日　宮城県女川町避難所　従業員

全国の支店から東北支店、福島支店へ３０００羽の折り鶴が集まりました。

災害ボランティア活動報告

- 平成23年5月25日～8月2日
- 1チーム3名～4名×10回
- 延べ37名
- 派遣先：石巻市ボランティアセンター

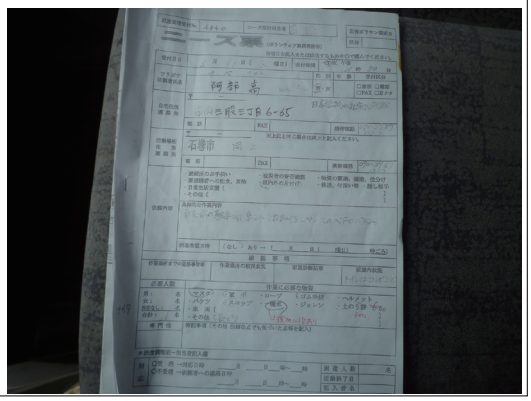
《ボランティアセンター内　資機材倉庫》作業に必要な資機材を借りる

家主から指示を受ける

被災者の命をつないだ津波にのまれたオロナミンC　我々にもいただきました

作業完了

【第４次　６月１７日】ニーズ票



【第４次　６月１７日】土のう袋300袋

【第４次　６月１７日】大震災の津波の時間で止まっている時計

【第6次　６月30日】津波に浸かった紙袋の選別と整理作業

【第7次　7月8日】ボランティアセンター　受付

【第7次　7月8日】側溝のヘドロ出し作業

【第9次　7月22日】住宅床下のヘドロ出し作業

【第10次　8月2日】津波に浸かった瀬戸物の洗浄作業

災害ボランティア　感想

テレビ等で酷い状況は分かってはいましたが、実際に現地へ行ってみると想像を超えた状況で声も出ませんでした。 1日だけではありましたが、少しでも現地の方のために行動できたことは自身にとっても良い体験ができたと感じております。 これからも被災者の方のためにお役にたてる事があれば、積極的に行動していきたいと思います。
自分自身が考えている以上に、現場はひどい状況でした。 他のボランティアの方と協力をしながら作業を進めていき、コミュニケーションの大切さも感じました。 現地の方と関わる中で、復興への強い思いを感じました。 これからも、さまざまな状況の中で、サポートできる人材に成長できるように努力をしていきたいです。
災害ボランティアに行かせて頂きました個人的な感想は、まず復興の道のりは遠いなと感じました。 三ヶ月経った今でも住宅街が廃墟になっている光景は衝撃的でした。 救いだったのはボランティアセンターの雰囲気が良かったことです。明るいセンターで良かったと思います。 この貴重な体験を業務、地域社会に反映して参ります。
今回、被災地の現状を目の当たりにし、ボランティアの活動をさせていただいた事は、自分にとって本当に貴重な体験をさせて頂きました。この経験を、仕事にも活かし、業務発展に取り組んで参ります。

第68回富士見会　H23．5．2

第68回富士見会　H23．5．2

『福島民友新聞』 掲載

東日本大震災義援金

富士見産業が10万円

ビルメンテナンス業や廃棄物処理業などを手掛ける富士見産業（本社・東京）は28日、東日本大震災義援金として10万円を贈った。

チャリティーゴルフコンペの参加者から浄財を募った。同社は1978（昭和53）年に、大熊町に福島支店、93年にいわき市に福島出張所を開設していた。

五十嵐宏治保健福祉部次長・社会福祉課長に義援金を手渡した。辰巳副部長が同行した。

同社はこの日、いわき市と大熊町にも各10万円などを贈った。

前田賢一社長が贈呈を務めた。

五十嵐次長に義援金を贈る前田社長（中央）と辰巳専務㊧

『福島民報』 掲載

東日本大震災

善意の寄付

◇28日▽富士見産業（本社・東京）が県、いわき市、大熊町に各10万円

福島第一原子力発電所

Jビレッジでの除染作業

9月24日　東北・神奈川・東京・千葉　合同旅行会

あつぎ鮎まつり花火大会翌日の河川敷早朝清掃

出席報告　〈会員 38 名、出席対象 33 名〉

10 月 11 日例会　　確定出席率 97％	11 月 1 日例会　　出席 30 名　欠席 3 名　出席率 90.91％
＜事後メイク＞ 難波雄三君（10 月 28 日 厚木県央 RC）	＜欠席者＞ 平沼義孝君・西嶌洋一君・米山尚登君